

平塚八景とは?

市制施行50周年を記念して、市民の推薦のもとに平塚の代表的な景色・景観等を「平塚八景」と制定(昭和57年4月1日)しました。

平塚市最西端・七国が一望

平塚市最西端、標高182mの七国峠は、甲斐・駿河・伊豆・相模・安房(あわ)・上総(かづさ)・武蔵の七国(ななくに)が一望できたことから、その名が付けられたといわれています。

七国峠の供養松と呼ばれ、峠を越える人々は必ずここで休んで行ったそうです。



峠茶屋(長兵衛茶屋)は大磯街道(別名、二宮街道・塩海街道)の中継点でした。



供養松と長兵衛茶屋

この峠には、源頼朝が挙兵した際にこの地の領主・土屋三郎宗遠も一族を率いて参加したが、石橋山の合戦で宗遠の実子、忠光が戦死したのを悲しみ植えたといわれる供養松の伝説もあります。

また長兵衛茶屋は大磯街道を行き交う人々で賑わっていました。旅人の疲れを甘酒で癒していたようです。



## 澄みきった空とパノラマ

澄みきった空に  
辺り一面に広がる緑

遠藤原は富士山・箱根・丹沢・大山のパノラマが素晴らしく、  
近くに清見原という地名があるように、澄みきった空は心が  
洗われるように美しい景観です。  
春には菜の花、初夏にはツツジやリンドウの花が咲き乱れ、  
また晩秋の日暮れどきの富士山の眺めは一幅の絵を見るようです。



赤とんぼも沢山  
飛んでいました



平塚八景  
七国峠・遠藤原

所在地：平塚市土屋 4841

交通：2番または8番乗り場

「七国峠」下車徒歩10分・「南平橋」下車、徒歩20分

草木や虫たち  
自然豊かな場所です  
散歩や自然観察を  
楽しんで下さい